

# バリューコマース・ウェブサービス トラベル API スタートアップガイド

Version 2.1

更新日：2010年10月

バリューコマース株式会社

テクニカルサポート([techsupport@valuecommerce.co.jp](mailto:techsupport@valuecommerce.co.jp))

## 目次

目次	2
1. 履歴	3
2. 概要	4
3. トラベル API を利用するための準備	5
3.1 バリューコマースのパートナーサイトとして登録し、審査を通過する	5
3.2 トラベル情報を持つ EC サイトと提携する	5
3.3 トークンを取得する	6
3.4 使用するプログラミング言語 (PHP) の動作確認	7
4. 検索方法	9
4.1 基本ルール	9
4.2 検索例	10
4.3 フォーマットの特徴と指定方法	10
5. 検索結果 (format=rss)	12
5.1 エラーの場合	14
6. 検索結果を PHP で表示できるように解析する	15
7. サンプルコード	16
7.1 サンプルコードの使い方	16
7.2 各 API のサンプルファイル	16
7.2.1 検索結果	17
7.2.2 シンプル検索	18
7.2.3 高度な検索	19
8. 上級者向けサンプルコード (hotel_results_map.html)	20
9. サンプルコードのカスタマイズについて	21

## 1. 履歴

2010/05/17	バリューコマース ウェブサービス トラベル API スタートアップガイド 発行
2010/08/04	エアチケットAPI、ツアーAPI リリース。またテクニカルサポートのメールアドレスを変更。
2010/08/16	上級者向けサンプルコード (hotel_results_map.html) リリース。またディベロッパーキット内のフォルダ構成を変更
2010/10/18	P.7 に PHP の推奨環境 (PHP5.2) を追加

## 2. 概要

バリューコマース・ウェブサービス トラベル API スタートアップガイドでは、トラベル API を簡単に利用するための準備やステップとその他基本的な説明、そしてサンプルコードを提供をします。

バリューコマースのトラベル API を利用して、次のことができます。

- トラベル情報(宿・ホテル、航空券、ツアー)の簡単検索
- ホテルタイプや航空券のシートクラス、価格などでの詳細検索
- PC でもモバイルでも Google Maps など他の API とマッシュアップした自由なサイト構築 など

自由なアイデアとバリューコマースの持つコンテンツを組み合わせ、あなたのウェブサイト新しいサービスを生み出してください。

- ⚠ ウェブサービスを利用するには、バリューコマースにパートナーサイトとして登録し、審査に通過している必要があります。審査を通過すると、登録 E メールアドレス宛にお知らせメールが届きます。
- ⚠ ウェブサービスの利用にはプログラミングのスキルが必要です。バリューコマースではプログラミングに関するサポートは行っていません。

### 3. トラベル API を利用するための準備

トラベル API を利用し、EC サイトが持つ情報を取得するには、下記 4 つの準備が必要です。

- [バリューコマースのパートナーサイトとして登録し、審査を通過する](#)
- [トラベル情報を持つ EC サイトと提携する](#)
- [トークンを取得する](#)
- [使用するプログラム言語 \(PHP\) の動作確認](#)

#### 3.1 バリューコマースのパートナーサイトとして登録し、審査を通過する

ウェブサービスを利用するために、まずはバリューコマースにパートナーサイトとして登録しましょう。下記のページから申し込みます。

<http://www.valuecommerce.ne.jp/>

申し込み手続きが終わると、登録 E メールアドレス宛に仮パスワードが送信され、本パスワードを作成し管理画面に接続することができます。

でも、この時点ではまだウェブサービスを使うことはできません。

バリューコマースではあなたのサイトが適切かどうかの審査を行っており、審査に通過するとウェブサービスが利用できるようになります。審査終了のお知らせは登録 E メールアドレス宛に届きます。

⚠ 審査終了まで数日かかります。

#### 3.2 トラベル情報を持つ EC サイトと提携する

トラベル情報を提供している EC サイトと提携をします。(\*1)

<提携のしかた>

1. バリューコマースの管理画面にログインし、ナビゲーションメニューの [ オファー検索 ] から、さらに [ オファー検索 ] をクリック
2. 検索ボックスに EC サイト名など検索キーワードを入力 (\*2)
3. [ 詳しい条件で検索 ] をクリックし、オプション機能項目で「商品オファー/ウェブサービス対応」をチェック
4. [ 検索 ] ボタンをクリック

5. 検索結果の中から希望するオファーの[ 申し込む ]をクリック

即時提携オファーの場合	審査ありオファーの場合
1. 「提携が承認された後、この EC サイトからの広告内容を含むメールを受信することに同意します。」というポップアップが表示され、[ OK ] をクリック (クリックするとその EC サイトと提携します)	1. 「提携が承認された後、この EC サイトからの広告内容を含むメールを受信することに同意します。」というポップアップが表示され、[ OK ] をクリックすると提携申し込み完了
2. オファーステータスが“提携済み”になるので [ 広告を選ぶ ] ボタンをクリック	2. オファーステータスが“提携待ち”になり、管理画面上部にある「あなたへのメッセージ」に提携完了の通知が届いたら、ステータスが“提携済み”になる。(*3)
3. 「3.3 トークンを取得する」に進む	3. 「3.3 トークンを取得する」に進む

⚠ 管理画面内の操作で分からなくなった場合は、画面右上にあるヘルプを参照してください。

(\*1) 2010年08月現在、トラベル情報を持つ EC サイトはじゃらん (ホテル API) とエイビーロード (エアチケット/ツアーAPI) です。

(\*2) じゃらんの場合は「PDB じゃらん net」、エイビーロードの場合は「PDB エイビーロード」と入力します。

(\*3) 通知が届くまで数日から数週間かかる場合があります。この期間を「提携待ち」といい、ウェブサービスを使って検索しても提携待ちの EC サイトが持つ情報は検索結果に戻ってきません。通知があるまでお待ちください。なお通知の結果、提携申し込みが拒否される場合があります。その場合にはその EC サイトとの提携ができず、その EC サイトが持つ情報をウェブサービスで取得することはできません。

### 3.3 トークンを取得する

トークンとは、バリューコマースが発行するアクセスキーで **1 サイトにつき 1 つのトークンが発行されます**。これによってバリューコマースはどのパートナーからのアクセスか認識することができます。トークンはウェブサービスを使用する上で必ず必要になる情報です。

1. バリューコマースの管理画面にログインし、ナビゲーションメニューの [ オファー検索 ] から [ オファー検索 ] をクリック
2. 提携した EC サイトのオファー詳細を検索し、[ 広告を選ぶ ] をクリック
3. [ コードを取得 ] をクリック
4. 画面中央にある「あなたのトークン」をコピー、保管しておく

### 3.4 使用するプログラミング言語 (PHP) の動作確認

ウェブサービスを利用するためには、検索ページを製作する必要があります。使用するプログラミング言語は好きなものを使ってください。ここでは、PHP5.0 以上 (推奨環境 PHP5.2) を使用するケースについて説明します。

#### 1. PHP を使用することができるサーバを用意する

PHP が使用できるサーバを用意します。既にレンタルホスティングサービスと契約、もしくはサーバを用意している場合は、そのサーバで PHP が使えるかどうかサーバ管理者等に確認してください。なお、推奨環境は PHP5.2 です。

#### 2. PHP が正しく動作するか、簡単なスクリプトを使って動作テストをする

下記のスクリプトをすべてコピーし、あなたが用意したサーバ内のディレクトリに保存してください。保存後ブラウザを使って、このファイルに接続し正常に動作するかどうかを確認します。

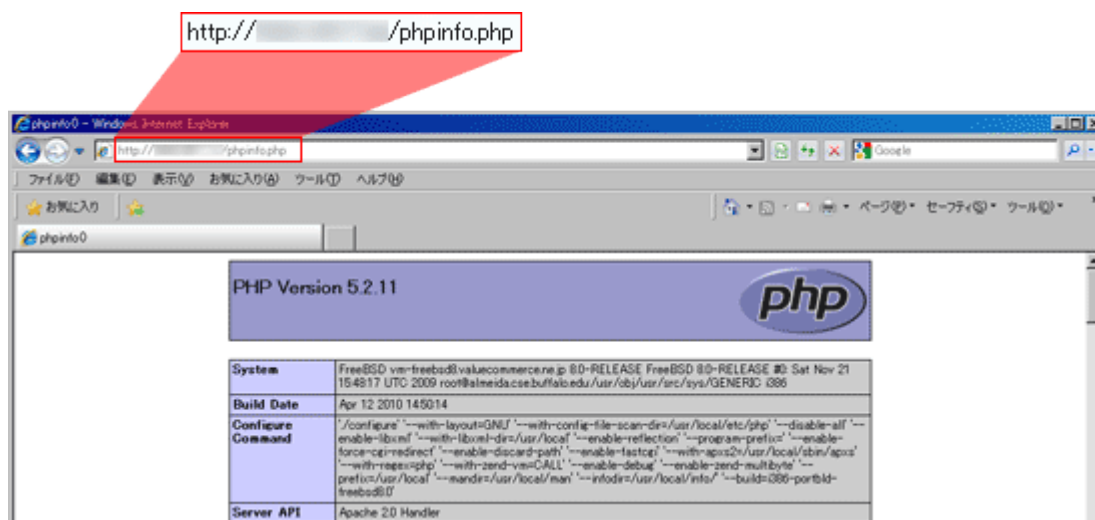
ファイル名:phpinfo.php

PHP ファイルが置かれているディレクトリのパーミッション:drwxr-xr-x (755)

PHP ファイルのパーミッション:-rw-r--r-- (644)

```
<?
phpInfo ();
?>
```

ブラウザでこのファイルに接続すると、下記のように PHP の詳細情報が掲載されている画面が表示されます。



⚠ 表示される PHP のバージョンや詳細情報はサーバによって異なります。

正しく表示されない場合は、PHP を使うことができるサーバなのか、または正しくスクリプトがコピーされているかを確認してください。



## 4. 検索方法

ウェブサービスでは、検索パラメータとその値をブラウザのアドレスバーに入力することによって、検索結果を受け取ります。

下記にバリューコマースで作成した検索ページを紹介します。

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel>



検索項目に必要な値(トークンや検索キーワード)を入力し「検索する」をクリックしてください。検索結果が表示されブラウザのアドレスバーには検索パラメータと入力した値がはいっていることが分かります。これがトラベル API の検索の仕組みです。

パラメータとその値を手動で入力して検索結果を表示させることもできます。

バリューコマース ウェブサービス トラベル API リファレンスの [P.2 検索パラメータ](#) を参照し、検索パラメータとそれぞれの値についてのルールを確認し、[4.1 基本ルール](#) に沿ってブラウザのアドレスバーに入力してみてください。

- ⚠ API ごとに利用出来るパラメータが異なります。
- ⚠ パラメータの値に全角文字を使用する場合、その文字をエンコードする必要があります。詳しくは [4.2 検索例](#) を参照してください。

### 4.1 基本ルール

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan>

- URLの後ろに「?」を付け、「token」パラメータからスタートします。「token」パラメータとその値がない場合や値が間違っている場合には、検索結果は表示されません。
- 「=」でパラメータの値を入力し、「&」でパラメータをつなげます。

## 4.2 検索例

[例 1] 検索キーワードを「japan」として検索リクエストを送信した場合

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan>

- キーワード検索をするパラメータとして“keyword”を入力します。
- 「=」でパラメータの値である“japan”を入力します。

[例 2] 検索キーワードを全角(日本)で検索リクエストを送信した場合

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=%E6%97%A5%E6%9C%AC>

- 全角文字は UTF-8 にエンコードする必要があります。

[例 3] 緯度と経度、範囲を指定し、指定の範囲内にある宿・ホテルの検索リクエストを送信した場合

[http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&serv\\_type=1&lat=35.680952&lng=139.767015&radius=3000](http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&serv_type=1&lat=35.680952&lng=139.767015&radius=3000)

- “serv\_type”パラメータで、宿・ホテル用の値である 1 を指定します。(必須ではありません)
- “lat”パラメータで緯度、“lng”パラメータで経度を指定し、ポイントとなる位置を特定します。
- “radius”パラメータで範囲を指定します。上の例では、経度・緯度で特定された位置を中心に、半径 3km 圏内にある宿・ホテルが検索されます。

## 4.3 フォーマットの特徴と指定方法

トラベル API を使って取得した検索結果は、RSS、JSON、JSONP のいずれかのフォーマットで返されます。

検索リクエストを送信する際、レスポンスのフォーマットを“format”パラメータを使って指定します。(指定しなかった場合は、デフォルト値として設定されている RSS フォーマットで返されます)

- RSS (xml) フォーマット  
RSSリーダーで読む事が可能でライブラリの拡張が容易なのが特徴です。レスポンスを RSS バナーとして配信することも可能です。

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan&format=rss>

- JSON フォーマット

JavaScript に組み込んで直接扱えるので、JavaScript を利用している方はもちろん、その記述方式からその他の言語(Perl, PHP 等)を使用する方にも扱いやすいフォーマットです。データサイズが軽量なのも特徴です。

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan&format=json>

- JSONP フォーマット

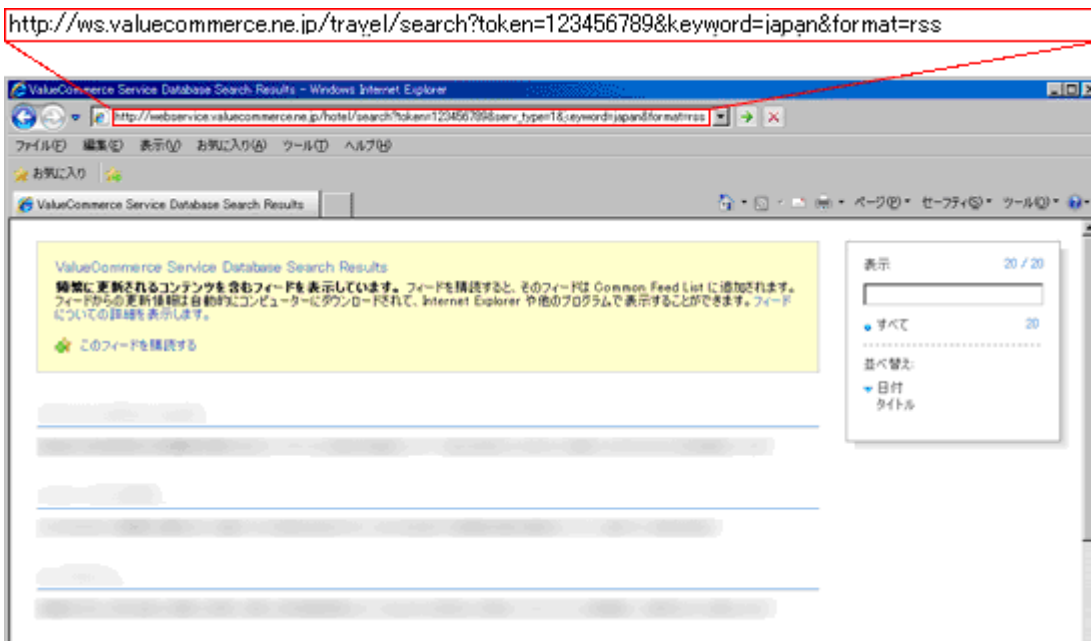
JSON と同様の特徴に加えて、コールバック関数を指定することができます。

[http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan&format=jsonp&callback=sdb\\_results](http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan&format=jsonp&callback=sdb_results)

⚠ JSONP を指定する場合は、必ず callback パラメータで callback 関数を指定する必要があります。

## 5. 検索結果 (format=rss)

ブラウザのアドレスバーを使って RSS フォーマットを指定し検索リクエストを送信した場合、下記のように XML RSS2.0 形式で検索結果が返ります。



⚠ 画面デザインはブラウザ及びそのバージョンによって異なります。上記は Internet Explorer8 を使っています。

このページのソースを見ると下記のように表示されます。表示されているパラメータについては、バリューコマース ウェブサービス トラベル API リファレンスの [p.11 検索結果パラメータ](#) を参照してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<rss version="2.0" xmlns:vc="http://valuecommerce.com/sdb/rss/">
<channel>
<title>ValueCommerce Service Database Search Results</title>
<link>http://www.valuecommerce.com</link>
<description>Processing time: 22 ms</description>
<language>ja</language>
<copyright>Copyright 2010, ValueCommerce Co. Ltd.</copyright>
  <vc:resultPerPage>20</vc:resultPerPage>
  <vc:page>1</vc:page>
  <vc:resultcount>21</vc:resultcount>
  <vc:pagecount>2</vc:pagecount>
  <vc:status>OK</vc:status>
  <item>
    <vc:servType>hotel</vc:servType>
    <title>ABC ホテル</title>
    <link></link>
    <description>夜景がきれいなホテル。女性に大人気</description>
```

```
<vc:id>303873</vc:id>
<vc:priceMin>10000</vc:priceMin>
<vc:priceMax>50000</vc:priceMax>
<vc:ecCode>AAAAA</vc:ecCode>
<vc:merchName>*****</vc:merchName>
<vc:hotel>
  <vc:add lang="JP">東京都港区赤坂8-1-19</vc:add>
  <vc:postCd>107-0052</vc:postCd>
  <vc:type>3</vc:type>
  <vc:checkIn>15:00</vc:checkIn>
  <vc:checkOut>12:00</vc:checkOut>
  <vc:access>半蔵門線・銀座線青山一丁目駅徒歩3分 </vc:access>
  <vc:city cd="">
    <vc:name lang="JP">赤坂</vc:name>
    <vc:ctry cd="">
      <vc:name lang="JP">日本</vc:name>
      <vc:name lang="EN">Japan</vc:name>
    </vc:ctry>
    <vc:sArea cd="">
      <vc:name lang="JP">東京都</vc:name>
    </vc:sArea>
  </vc:city>
  <vc:lat>35.6837222060</vc:lat>
  <vc:lng>139.7685662079</vc:lng>
</vc:hotel>
```

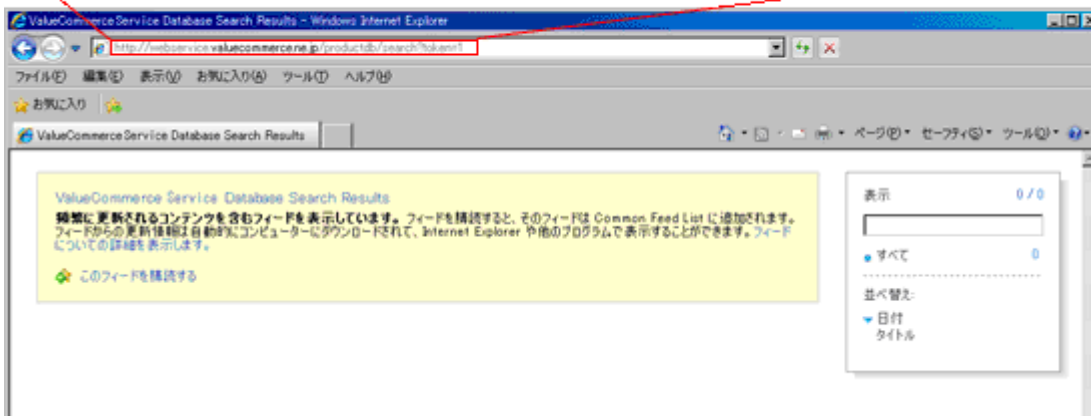
(省略)

## 5.1 エラーの場合

何らかの原因でエラーになり検索結果が返ってこなかった場合には、下記のように表示されます。

[例] "keyword"パラメータを、誤って「keyword」と入力した場合

<http://ws.valuecommerce.ne.jp/travel/search?token=123456789&keyword=japan&format=rss>



⚠ 画面デザインはブラウザ及びそのバージョンによって異なります。上記は Internet Explorer8 を使っています。

このページのソースを見ると、“vc:status”パラメータに「INVALID\_SEARCH\_PARAMETERS」と表示されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<rss version="2.0" xmlns:vc="http://valuecommerce.com/sdb/rss/">
<channel>
<title>ValueCommerce Service Database Search Results</title>
<link>http://www.valuecommerce.com</link>
<description>Processing time: 1 ms</description>
<language>ja</language>
<copyright>Copyright 2010, ValueCommerce Co. Ltd.</copyright>
<vc:status>INVALID_SEARCH_PARAMETERS</vc:status>
</channel>
</rss>
```

⚠ エラーの内容によって表示されるステータスは異なります。詳しくはバリューコマース ウェブサービス トラベル API リファレンスガイドの [P.11 検索結果パラメータ](#) を参照してください。

## 6. 検索結果を PHP で表示できるように解析する

検索結果 (rss) を PHP を使ってウェブページに表示させるためには、解析 (パース) する必要があります。

スタートアップガイドで提供するサンプルコードでは、PHP5 に付属されている SimpleXML モジュールを使った方法を紹介しています。

あなたのサーバに設定されている PHP5 で、SimpleXML モジュールが使えるかどうか調べるには、phpinfo を確認してください。

SimpleXML	
<b>Simplexml support</b>	<b>enabled</b>
<b>Revision</b>	\$Revision: 1.151.222 \$
<b>Schema support</b>	enabled

phpinfo にこの記述があったら、SimpleXML モジュールは有効になっています。

PHP5 を使わない場合や SimpleXML モジュールが使えない場合は、lastRSS ファイルなどお好きなライブラリを使ってください。

⚠ PHP5 の SimpleXML の詳細については [こちら](#) を参照してください。

## 7. サンプルコード

あなたのサイト内で検索および検索結果が表示されるよう、サンプルコード (PHP) を紹介します。  
サンプルコードをあなたのウェブサイトのコピーし実際にウェブサービスを使用してみてください。ウェブサービスの雰囲気がかめるとと思います。

### 7.1 サンプルコードの使い方

1. [PHPSamples](#) フォルダ内にある、すべてのフォルダおよびファイルを用意したサーバ内にコピーする
2. [PHPSamples](#) > [VCSDBDriver](#) 内にある [VCSDBDriverConfig.php](#) (設定ファイル) をメモ帳などのテキストエディターで開く
3. 下記にあなたのトークンを貼り付ける

```
/** ウェブサービス トラベル API を利用するパートナーサイトのトークン(必須) **/  
define('VCSDBDRIVER_TOKEN', 'ここにあなたのトークンを貼り付ける');
```

4. 上書き保存しサーバ内にも保存する
5. ブラウザを使って気に入ったサンプルファイルに接続する

### 7.2 各 API のサンプルファイル

API	サンプルコード	サンプルファイル名
ホテル API	<a href="#">検索結果</a>	display_sdb_results.php
	<a href="#">シンプル検索</a>	search_filter_results.php
	<a href="#">高度な検索</a>	advanced_filters_results.php
エアチケット API	<a href="#">高度な検索</a>	display_air_ticket_results.php
ツアーAPI	<a href="#">高度な検索</a>	display_tour_results.php



### 7.2.1 検索結果

もともとシンプルなホテル API 用サンプルです。初めてウェブサービスを利用する方におすすめします。



ファイル名	PHPSamples > display_sdb_results.php
特徴	あらかじめ検索用のキーワードと結果数をプログラム内に指定し、アクセス毎に検索結果を表示するタイプです。
必要な言語	PHP

## 7.2.2 シンプル検索

シンプルな検索項目を使ってユーザ自身が自由に検索できるようにしたサンプルです。あなたのサイトに訪れたユーザは、直接あなたのサイト内でホテル情報を検索することができます。

ファイル名	PHPSamples > search_filter_results.php
特徴	シンプルな検索項目を使ってホテル情報を検索します。
必要な言語	PHP, JavaScript

### 7.2.3 高度な検索

基本の検索項目と、さらに詳細な検索条件を追加したサンプルです。あなたのサイトに訪れたユーザは、直接ホテルやエアチケット、ツアー情報を検索することができます。

The screenshot shows a search interface for hotels. At the top, there are dropdown menus for '場所を探す' (Search by location) with options '地方' (Region), '都道府県' (Prefecture), and '都市' (City). Below this is a search bar for '宿・ホテル名、宿泊施設の特徴等で探す' (Search by hotel name, accommodation features, etc.) with a search button and a link for '検索オプションを開く' (Open search options). Further down, there are input fields for '予算 ¥10000 ~ ¥30000' (Budget), 'タイプ' (Type), and 'ソート順' (Sort order). A checkbox option reads 'クレジットカードで支払い可能な宿泊施設のみ表示' (Display only accommodations payable by credit card). The results section shows two items, each with a thumbnail, a title, a price starting from '¥10,000~' and '¥10,200~' respectively, and a '今すぐ予約' (Book now) button.

※ 画像はホテル API 用の画面です。

ファイル名	ホテル API: PHPSamples > advanced_filters_results.php エアチケット API: PHPSamples > display_air_ticket_results.php ツアー API: PHPSamples > display_tour_results.php
特徴	基本となる検索項目の他、詳細な条件を付けて検索することができます。
必要な言語	PHP, JavaScript

## 8. 上級者向けサンプルコード (hotel\_results\_map.html)

hotel\_results\_map.html は、上級者向けのサンプルコードで Javascript で作られています。また、検索結果のフォーマットでは Json を利用しています。



ファイル名	JavaScriptSamples > hotel_results_map.html
特徴	Google Maps を利用したマッシュアップサイトです。位置を指定すると、その周辺にあるホテル情報を検索します。
必要な言語	JavaScript

## 9. サンプルコードのカスタマイズについて

サンプルコードはあなたの用意したサーバにコピーし、あなたのトークンを追加すればすぐにウェブサービスが利用できるよう組み立てられています。

- サンプルコードの表示スタイル (HTML ファイル) のみをカスタマイズする場合  
[PHPSamples](#) > [Views](#) 内にある HTML ファイルをカスタマイズしてください。JavaScript や“\${...}”形式の置き換え文字列、およびタグの ID 等に変更しないよう注意してください。
- PHP をカスタマイズする場合 (上級者向け)  
サンプルコード他 PHP をカスタマイズする場合は、[PHPSamples](#) > [Docs](#) 内にある index.html を参考にしてください。
- ⚠ サンプルコードは、その動作をバリューコマースが保証するものではありません。また、サンプルコードの技術的サポート等を行っていませんので、利用者の責任においてご利用ください。ソースコードの変更は自由ですが、再配布はしないでください。